



たいようこう
太陽光を
なに か
何に変えようプロジェクト
はじまりました。



太陽光を何に変えようプロジェクト
<http://taiyo.ecorelakirei.com/>

ノーリツでは2011年4月から太陽光発電システムの製造販売を始めました。しかしそれより以前(1980年/32年前)から、太陽熱を利用したシステム(給湯や暖房)を製造販売してきました。太陽光と言えば発電に目が行きがちですが、私たちは「他にももっともっと可能性がある」と信じてそこにアイデアを注いでいます。

毎日どこにでも降り注ぐ太陽を、他のものに変換する。
ワクワクする何かに。
人の役にたつ何かに。
新しいエコに。

ノーリツは技術にアイデアをプラスして、発電はもちろん、太陽エネルギーの可能性をもっともっと広げていきます。

太陽光のカラクリ箱

太陽光にできることは、きっと発電だけではありません。風が生まれて、雨が生まれて、森が生まれるように。もっと地球と未来のために、ノーリツは考えていきます。

太陽光のカラクリ箱は、全国のノーリツ事業所に設置している太陽光発電パネルが2000kWh発電するたびに、カラクリが動く仕組みになっています。



太陽光のカラクリ箱

ノーリツ社員のワークショップ

プロジェクトの始まりとして、親子で太陽光を感じるワークショップをノーリツ社員でつくることにしました。いろんな部署のメンバーが集まって、太陽光を何に変えるか考えながら、ワークショップとして面白くなりそうなアイデアをたくさん出しあいました。



ノーリツ社員のワークショップ

学生たちのワークショップ

若者たちの素直な発想を取り入れるため、14大学でワークショップを開催し、264名の学生たちが参加してくれました。太陽光を何に変えるか考え、「太陽光を何に変えようシート」にアイデアの芽を記入し、色んなアイデアが数多く生まれました。



学生たちのワークショップ

子どもたちのワークショップ

ノーリツの社員たちでつくる親子向けワークショップを横浜と名古屋で開催しました。たくさんの親子が参加してくださいました。

ワークショップのタイトルは、「太陽を感じて、遊んで、考えて。親子でオリジナル絵本をつくろう」というもの。太陽光のエネルギーがどんなものになるのか、いっぱい想像してお絵かきをしながら、世界で1つだけの自分だけの絵本がつかれるワークショップです。

まず、「おひさまクイズ」で太陽の大きさや地球との距離を実感してもらうことからスタート。続いて太陽が放つ光や熱を利用してノーリツが発明した商品（ダブルソーラー）の紹介を行いました。

そして、いよいよ絵本作成。子どもたちは研究所の助手として白衣を着て、太陽のことをいっぱい考えて「太陽の

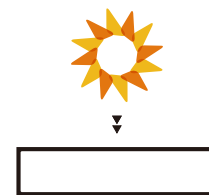
発明家」という絵本を完成させました。子どもたちのアイデアは、どれも大人たちをびっくりさせるものばかり。大人たちも、未来にワクワクする、そんなワークショップとなりました。2013年も継続して行います。



子どもたちのワークショップ

太陽光を何に変えようコンテスト

太陽光を、人のしあわせにつなげるアイデア。太陽光は、熱・電気・お金だけでなく、色々なものに変えることができるはず。変えた何かで、誰かを幸せにできるアイデアを募集しました。



ノーリツのアイデア

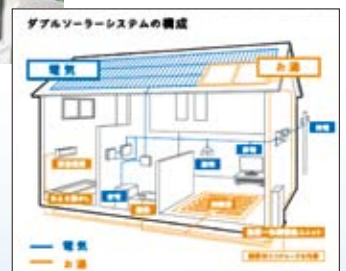
お湯と電気を一緒につくれば、もっと節約できるのではないか。そんな想いから、ノーリツのダブルソーラーが生まれました。

太陽熱でお湯を、太陽光で電気を。太陽のチカラを両方使って、とってもお得になります。

昼間は太陽光で電気をつくって、余った分は売電することができます。夜間は、昼間に太陽熱で沸かしたお湯を使って、給湯だけでなく温水暖房にも活用することができます。太陽の2つのチカラを利用した、一日中、省エネのシステムです。



ダブルソーラー



太陽光を「ルミナリエの灯り」に変えよう。

ノーリツの工場や事業所などに設置された太陽光パネルで発電した電力を金額換算し、その一部を神戸ルミナリエに寄付しました。

また、2013年夏に大規模太陽光発電（メガソーラー）事業を開始します。太陽光を、人の笑顔や地球のエコのために。再生エネルギーの可能性を信じて、新しい取り組みを次々と行っていく予定です。



当社社長 國井 総一郎